

市長公約の取組状況

1期目ー令和5年3月末現在ー

もっと1：子育て教育のまちに

事業名	1期・4年間の実績
○学校トイレ整備の改善	・市内全小・中学校の校舎及び体育館のトイレ洋式化改修工事が完了。
○学童保育と放課後子ども教室の充実と再編	・市内全小学校で学童保育所を運営（待機児童なし）。 ・市内3カ所で放課後子ども教室を実施。 ・児童が放課後を安心・安全に過ごす居場所作りを目的とした、放課後子ども教室の整備・運営方針を定める「白井市放課後子ども総合プラン行動計画」の素案を策定。
○ICTを活用した教育環境の充実	・児童生徒に1人1台タブレット端末を配布。 ・校内における高速通信ネットワークを整備。 ・職員研修やICTガイドラインを作成し、タブレットが効果的に活用されるよう情報発信。 ・オンライン授業の実施。

もっと2：元気で健康なまちに

事業名	1期・4年間の実績
○ライフステージに応じた健康づくりの推進	・介護予防を目的とする梨トレ体操や楽トレ体操、子供向けの梨トレ体操第2など、年代に合わせた体操の普及啓発。 ・市内全中学校区での総合型地域スポーツクラブの活動を支援。 ・新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響かつ健康状態の悪化や運動機会の減少、心身の不調に対応するため、フレイル予防の取組を実施。 ・第3次しろい健康プランを策定し、生涯を通じた健康づくりの取組を推進。
○介護予防事業で健康寿命の延伸	・高齢者自身がボランティア活動を行い自身の介護予防と地域の見守りの両立を推進 ・認知症予防・運動機能及び栄養・口腔機能の向上等の各種講座を開催。 ・介護予防を行う自主グループの取り組みが継続して行えるよう支援を実施。
○高齢者就労の拡充と居場所づくり	・住民主体の通いの場に理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職を派遣し、介護予防に資する取り組みの周知啓発及び相談を通し、活動の拡充や再開、継続を支援。 ・高齢者の就労やボランティアのマッチングイベントを開催 ・研修などを通じたサロン活動の活性化を支援。 ・千葉県や企業と連携したシニア向けセミナー等を実施。
○生活者の視点に立った安心して暮らせる環境作りの推進	・白井市助け合い活動支援補助金を創設。地域住民主体の助け合い活動（ゴミ捨て・電球交換）の担い手確保、団体の創設を支援。 ・企業等との連携により移動スーパーの開設を支援。

もっと3：安全・安心なまちに

事業名	1期・4年間の実績
○災害に備え自助・共助・公助の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市避難行動要支援者避難支援プランに基づき、避難行動要支援者名簿を避難支援関係者へ配布。 ・防災に関する専門的な知識を求める自治会等に対し、防災アドバイザーを派遣。 ・市の災害リスクを市民に周知し災害への備えや適切な避難行動に繋げるため、防災ハザードマップ（地震・洪水・土砂災害・内水氾濫）を作成し全戸配布を実施。 ・災害リスクに対する減災に向けた取り組みを定める「白井市国土強靱化地域計画」を策定。 ・内水氾濫に対するハザードマップを令和4年3月に作成。令和4年6月に全戸配布。 ・大規模災害に備えた避難所開設・運営マニュアルを策定し、自治会及び自主防災会へ配布。 ・消防団員の処遇改善の一環として令和4年度から報酬単価の引き上げを実施。 ・消防団車両更新整備方針を策定し計画的な更新整備を実施。 ・令和5年1月に地域防災計画の修正を実施。 ・防災行政無線の更新事業に向けた基本設計を実施。 ・まちづくり協議会との協働による避難所開設・運営訓練を通して、共助の充実・強化を推進。
○防災や防犯などの地域課題に取り組むため、まちづくり協議会の設立の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・白井第二小学校区・白井第三小学校・大山口小学校区の3地区で、まちづくり協議会が設立。 ・設立された3つのまちづくり協議会において、それぞれの「まちづくり計画」に基づき、防災、防犯、福祉、子育て、環境など多様な地域課題の解決や魅力づくりに向けた地域住民主体の活動を支援 ・未設立小学校区の関係団体の代表者等に説明会等を実施し、設立に向けた準備および活動を支援
○コミュニティ活動を活性化し、地域コミュニティの再生	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や自治連合会小学校支部の活動を支援。 ・公益活動を行う市民団体の活動を支援。 ・Zoomなど新しい生活様式に対応したコミュニケーションツールの活用支援。 ・市主催の講座で会議等を進めるうえで必要なファシリテーション技術を学んでもらい、市民協働ファシリテーターとして市主催のワークショップ等に登用。

もっと4：みどり豊かで快適なまちに

事業名	1期・4年間の実績
○消費・生産の地域循環を促進し、白井の農業・商業を守るための事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「歌舞伎座」をはじめ、都内でのPR機会を拡充 ・しろいの梨のWEBサイトの構築、直売所マップ作製などPR手法の充実。 ・地場産農産物の移動販売など、販売の場の拡充による市内消費を拡大。
○豊かな自然や緑を守り、次世代に残すための事業拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体との協働による環境学習の推進 ・令和4年2月のゼロカーボンシティの実現に向けた表明（第3次環境基本計画・第5次地球温暖化対策実行計画）に基づく再生可能エネルギーの導入検討・決定。 ・市が率先して再生可能エネルギーを導入することとし、市役所本庁舎・東庁舎、保健福祉センターの太陽光発電施設の設置について、PPA制度による事業者を決定。 ・京葉ガス(株)と連携協定を締結し、気候変動適応とゼロカーボンシティの実現に向けた取組の推進。 ・市内中学校で脱炭素・未来ワークショップを開催 ・環境団体等と協働により市内の特定外来生物の駆除作業を実施 ・東邦大学と「生物多様性に関する協定書」を締結し、豊かな自然環境の中に息づく生物多様性と地球温暖化に対する取組を実施
○北総線運賃対策をはじめ、循環バス・民間バス・タクシーなど交通ネットワークの利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスは令和3年8月2日から新たなルート・ダイヤで運行を開始し、これに合わせて愛称を“コミュニティバス「ナッシー号」”に。 ・新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響を受けている公共交通事業者を支援し安定的な運行及び日常生活の移動手段を確保。 ・令和4年10月に北総線の運賃が値下げが実現。
○各地域を結ぶ生活道路の整備とともに、工業団地へのアクセス道路の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の新設、歩道整備や生活道路の拡幅等を推進。 ・工業団地アクセス道路の整備を推進

もっと5：健全な行財政運営なまちに

事業名	1期・4年間の実績
○市役所の仕事に見える化して、事業の見直し改善を行い、行政のスリム化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供戦略に関する計画を策定。 ・事務事業評価等を通じた事業の抜本的見直しを推進。 ・多様化する行政課題等に柔軟・的確に対応できる組織体制の見直し。
○働き方改革と意識改革を進め、生産性の向上と意欲と質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市職員のあるべき姿を策定。 ・人材育成基本方針の見直し。 ・適材適所の人事配置を推進。 ・ノー残業デーの実施 ・勤務管理システムの導入など働き方見える化を推進。 ・コロナ禍の働き方として時差出勤や分散勤務、テレワークを実施。 ・メンタルヘルス研修や働き方改革のための研修を実施。
○市民参加により次世代を見据えた公共施設等の最適な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の最適配置等を検討するための方針を策定 ・今後の公共施設の維持保全、長寿命化に対応するために公共施設個別施設計画を策定。 ・市民ニーズを踏まえた公共施設の個別施設計画を策定。 ・文化センターのあり方検討委員会を立ち上げ、文化センター内各館の今後の在り方や施設の維持保全について検討。